

会員だより

21号大阪直撃

9月4日午後、いつも一緒に麻雀をしたりトランプをしたりして遊んでいる4人のメンバーが、今日はトランプのポーカーをしようと7階の談話室に集まり、親を決めてカードを配り出したその時です。ガタガタと大きな音がして分厚い窓ガラスが揺れました。



形もありません。新聞紙ほどの紙屑が7階の高さまで吹き上げられてきます。その中を車が疾走しています。大きな樹はそれこそ枝も折れんばかりに揺れています。その時停電しました。一瞬みんな困ったなと思いました。高い建物では停電が一番困るのです。もしばらくして復旧しました。自分の部屋へ様子を見に行きたいのですが、エレベーターは怖くて乗れませ

「わっ」とか言って一斉に立ち上がりました。地震かと思ったのです。でも床は動いていません。みんな同時に「台風や」と言って窓に駆け寄りました。ニュースなどで台風が近畿を直撃するのを知っていましたから、すぐわかりました。急に吹き出した風は辺りの小さいものやゴミ屑などを吹き上げています。私たちの建物は鉄筋コンクリートで頑丈だからとみんな安心していましたがその時、身の危険は全然感じませんでした。7階の談話室は廊下の真ん中にあって窓は大きく、見晴

らしはとてもいいのです。下界はまさに暴風が吹き荒れています。物凄い勢いであまり丈夫でない屋根を吹き千切っていくま

み。みるみる屋根を覆うものはなくなり剥がれた板はどこへいったのか、新聞紙ほどの紙屑が7階の高さまで吹き上げられてきます。その中を車が疾走しています。大きな樹はそれこそ枝も折れんばかりに揺れています。その時停電しました。一瞬みんな困ったなと思いました。高い建物では停電が一番困るのです。もしばらくして復旧しました。自分の部屋へ様子を見に行きたいのですが、エレベーターは怖くて乗れませ

回しても、どこから来たのか分かりません。ヘルパーさんに報告しました。あとで聞くと部屋の換気口の蓋で部屋の中から差し込みになっているのです。それが外からの強い風圧で飛ばされたのです。みるとカーテンの陰でわからなかつたのです。換気口から3メートルも飛ばされていました。もし部屋に居たら当たっていたかも。台風の荒れている間中、入居者の人たちが、みんな廊下などへ出て話し合ったり一緒に行動したりして、思わぬ親睦の機会にもなつたのではないかと思います。最近、よく台風が近畿を直撃とニュースがあつてもまともに来たことがなかつたので、ちよつと怖い思いをしました。子供のころに経験した室戸台風や、ジーン台風の事などを思い出しました。

舞子駅よりすぐ近くにある「橋の科学館」では架橋技術・資金・発想力・地方自治体のあり方・経済交流・観光など見直す機会となり、感激しました。特に関西圏から近い明石大橋は淡路島につながり、私にとつて四国88か所巡りに便利なコースでした。いつも添乗員が橋の概要を説明する頃にはバスは淡



世界一のつり橋明石大橋

路島に入っていました。今回は科学館から歩いてすぐの「舞子海上プロムナード」を歩きました。海面から高さ47m、陸地から約150m、明石海峡の上へ突出した延長317mの回遊式歩道橋は下界の憂さを忘れるほど、心地良い風が吹いています。途中にある「丸木橋」は足元がガラス張り、明石海峡の潮流が見えて、足がすぐみえました。窓から舞子公園やヨットハーバーや孫文ゆかりの「移情閣」が見えます。今回は時間がなく訪れることはできませんでしたが、次回には中国の近代革命の歴史の一角に触れてみたいものです。

さあいよいよランチタイム。味処は明石の魚店（うおんたな）商店街です。お盆の日曜日で、人通りが多く賑わっていました。海鮮で満腹になった筈ですが、名物の明石焼きもと商店街を歩いていると80代かと思われる女性が店先で明石焼きを焼いておられる姿に誘われて、店内に入った。次の人が「はい、いいですか？」と入れます。次の人にも「大丈夫です。」と端的に断られる。私たちは本当にラッキーでした。その味は関西のたこ焼きとは全く異なつたもの、ふわふわの蛸入り卵焼きで胃の中につきりと収まりました。後で気が付くとガイドブックに載っているほどの明石名物店だったらしい。

明石大橋から

天空へのプロムナード



記・牧戸富美子

明石や舞子なんて昔行つた遠足コースと期待半分、僅か1日の盆休みの家族旅行に選んでみると

記・写真…上村サト子